学校番号	１００７

令和３年度　音楽科

教科	音楽	科目	ソルフェージュ	単位数	２単位	年次	３年次
講座名	保育音楽Ⅱ						
使用教科書							
副教材等	阿部直美のふれあい手あそび歌あそび　（株式会社世界文化社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この講座は、楽典、階名唱、手遊び歌の実演・創作、ピアノ演奏の４つの分野を年間通して勉強します。
・学習の到達度は、授業で配布するワークシートや実技テスト、筆記テストで評価します。
・それぞれの活動に先入観や好き嫌いなく取り組むことで、保育の現場で必要とされる音楽の力を広げ、深めることができます。
・この講座で取り組んだことが、保育の現場で生かされ、皆さんの支えとなることを願っています。

2　学習の到達目標

・楽譜を読む力をつけ、様々な曲ですぐに活用できるようにする
・発声のしくみ、発声の基本を理解し、声を出した状態の良し悪しを判断できる力を少しでもつけたい
・鍵盤楽器（ピアノ、キーボード）の基礎技術を獲得する。
・コードネームを理解し、簡単な伴奏付けでけるようにする
・表現力を高める

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a：音楽への関心・意欲・態度	b：音楽表現の創意工夫	c：音楽表現の技能	d：鑑賞の能力
観点の趣旨	保育の現場で活用される音楽や音楽文化に関心をもち、楽典、階名唱、手遊び歌の実演・創作、ピアノ演奏の学習に主体的に取り組もうとする。	その音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、階名唱、手遊び歌の実演・創作、ピアノ演奏を工夫し、どのように歌唱・演奏するかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をする為に必要な楽典、の知識や階名唱、手遊び歌の実演・創作、ピアノ演奏の技能を身に付け、創造的に表現している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	授業態度 学習の取り組み状況 （観察・聴取） 学習プリントの作成状況	学習の取り組み状況 （観察・聴取）	実技課題進度状況 学習の取り組み状況 （観察・聴取） 創作曲	学習プリント 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1ターム	手遊びをつくろう	＜手遊び歌＞ ごんべさんのあかちゃん おはぎのよめいり おたまじゃくし	○	○	○		a:歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 c:表現したい事を伝える為の歌唱技術を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
		＜創作＞ おはぎのよめいりをモチーフに手遊びを作ってプレゼン！	○			○	a:主体的に作品を記譜、記録したり、互いに発表しあったりする活動に関心をもち、主体的に取り組もうとしている。 d:できあがった作品について音楽の諸要素の働きがイメージにふさわしいものになっているか考えながら創造的に聞いている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	ピアノを演奏するために	＜楽典・ソルフェージュ＞ 繰り返し記号 いろいろな記号 拍子について 階名唱	○		○		a:楽譜に書かれた情報を読み取り歌い、リズム打ちをするための学習に主体的に取り組んでいる。 c: 楽譜を読譜し、表現したい事を伝える為の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
		＜ピアノ演奏＞ 任意のピアノ曲	○		○		a:ピアノの練習方法を身に付ける為の学習に主体的に取り組んでいる。 c:ピアノを演奏するために必要な技能を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取

2ターム	手遊びを生かそう リズム遊びを作ろう	＜劇遊び＞ わくわくもりの動物たち ブレーメンの大サーカス	○	○	○		a:歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 c:表現したい事を伝える為の歌唱技術を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	ピアノを演奏するために	＜楽典・ソルフェージュ＞ 調性について 聴音 階名唱	○		○		a:楽譜に書かれた情報を読み取り歌い、リズム打ちをするための学習に主体的に取り組んでいる。 c: 楽譜を読譜し、表現したい事を伝える為の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
		＜ピアノ演奏＞ 任意のピアノ曲	○		○		a:ピアノの練習方法を身に付ける為の学習に主体的に取り組んでいる。 c:ピアノを演奏するために必要な技能を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
3ターム	手遊びを知ろう	＜手遊び歌＞ ふれあいわらべうた　より げんこつやまのたぬきさん おてらのおしょうさん たけやぶのなかから 他	○	○	○		a:歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 c:表現したい事を伝える為の歌唱技術を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	ピアノを演奏するために	＜楽典・ソルフェージュ＞ プリント「コードについて1,2,3」	○		○		a:楽譜に書かれた情報を読み取り歌い、リズム打ちをするための学習に主体的に取り組んでいる。 c: 楽譜を読譜し、表現したい事を伝える為の技能を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取

		＜ピアノ演奏＞ 任意のピアノ曲 童謡弾き歌い	○		○		a:ピアノの練習方法を身に付ける為の学習に主体的に取り組んでいる。 c:ピアノを演奏するために必要な技能を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
		＜創作＞ コードを付けてピアノを演奏しよう。 自分でアレンジして演奏しよう。	○			○	a:主体的に作品を記譜、記録したり、互いに発表しあったりする活動に関心をもち、主体的に取り組もうとしている。 d:できあがった作品について音楽の諸要素の働きがイメージにふさわしいものになっているか考えながら創造的に聞いている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
4ターム	手遊び歌を実演しよう	＜手遊び歌＞ 任意の手遊び歌	○	○	○		a:歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気や特質を感受しながら、歌詞の内容と関わらせてどのように歌うか、表現意図をもっている。 c:表現したい事を伝える為の歌唱技術を身に付けている。	観察 ワークシート 演奏の聴取
	ピアノの演奏を楽しもう	＜ピアノ演奏＞ 任意の手遊び歌の伴奏 任意のピアノ曲	○		○		a:ピアノの練習方法を身に付ける為の学習に主体的に取り組んでいる。 c:ピアノを演奏するために必要な技能を身につけている。	観察 ワークシート 演奏の聴取

※　表中の観点について a:　音楽への関心・意欲・態度　　b:　音楽表現の創意工夫
c:　音楽表現の技能　　d:　鑑賞の能力

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。